



鳳来寺山山頂よりの眺め

鳳来寺山は、愛知県の東部、奥三河の玄関口とも言われる新城市にあり、当所の豊橋森林事務所管内に所在する棚山国有林と連なる旧火山群の最南端にあって、東三河平野を隔て三河湾を望むことが出来ます。



1,425段続く石段

この山は、標高六九五メートルで約二千万年〜千五百万年前に数回の火山動によって噴出したマグマの松脂岩や石英安山岩等で構成されており、その後の地殻変動と風化浸食作用によって原形を失い、現在の険しい岩山となっています。その特異な山容は古くから信仰の対象とされ、パワースポットとしても知られています。

鳳来寺の象徴ともいえる鏡岩と呼ばれる大岩壁は、高さ七十メートル、幅二百〜二百五十メートルほどあり、その下に建つ鳳来寺は、利修仙人によって開かれた真言宗の由緒ある寺院で、特に子授けの薬師如来として評判が高く、松平広忠夫妻が祈願して授かったのが、後に天下人となる徳川家康であったと伝えられています。



鳳来山東照宮

表参道から進みますと、一四二五段の石段があり、石段を登りながら「仁王門」、「傘杉」（推定樹齢は八百年、樹高は六十メートル程。幹の上方の枝が四方に広がり、傘を差したように見えることから傘杉と呼ばれるそうです）、「松高院」、「医王院」、があり石段を登り切ると「鳳来寺本堂」や家康公を祀り日本三東照宮の一つでもある「鳳来山東照宮」があります。

表参道の駐車場から中腹の鳳来山本堂まで約九十分、そこから山頂を経由して東照宮まで一周して約百二十分、下山に三十分で約四時間のハイキングが楽しめます。



仁王門

表参道から進みますと、一四二五段の石段があり、石段を登りながら「仁王門」、「傘杉」（推定樹齢は八百年、樹高は六十メートル程。幹の上方の枝が四方に広がり、傘を差したように見えることから傘杉と呼ばれるそうです）、「松高院」、「医王院」、があり石段を登り切ると「鳳来寺本堂」や家康公を祀り日本三東照宮の一つでもある「鳳来山東照宮」があります。



◆所在地：愛知県新城市門谷字鳳来寺一アクセス

◆公共交通：JR本長篠駅からバスで八分（鳳来寺バス停下車）鳳来寺から徒歩で六十分

◆自動車：新東名自動車道新城ICから車で三十分。山頂駐車場から徒歩で十分



鳳来寺山山頂

ぜひ、都会の喧噪を離れてのんびりと一日巡ってみてはいかがでしょうか。